

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】

有限会社新日邦 808FACTORY  
(shinnippou Ltd. 808FACTORY)

館柄コード	1111
法人番号	9080002018306

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	01	農業
細分類 (申請事業)	0113	野菜作農業(きのこ類の栽培を含む)
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	□.□□		原単位分母 ■■■■量(トン)		
	主たる事業 の構成割合		□□.□ %		
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	／				
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	□.□□		原単位分母		
			■■■■量(トン)		
DR実施日数	□□				
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	<div></div>	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□
事業者全体の 5年度間平均原単位変化	□□.□				

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	■■	■■■■■業
目指すべき水準	□□.□ kℓ/t以下	
ベンチマーク指標の状況	達成	
ベンチマーク区分	■■	■■■■■業
目指すべき水準	□□.□ kℓ/t以下	
ベンチマーク指標の状況	未達成	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

エネルギー総使用量	54,415	GJ	1,403,907	kℓ
前年度エネルギー 総使用量	／		□□□□	kℓ
非化石エネルギー 総使用量	□□□□	GJ	□□□□	kℓ
調整後温室効果ガス 排出量	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>		

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量	
Jクレジット	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>
-	-	t-CO <sub>2</sub>
-	-	t-CO <sub>2</sub>
-	-	t-CO <sub>2</sub>

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	20.0%				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	／	／	／	／	17.4

目安設定業種	■■		■■■■■業		
目安（2030年度）	【指標】●●●●●に向けた取組による、2030年度における●●●●●の●●●●●に占める●●●●●の割合。				
	【目標となる水準】□□％以上				
目標（2030年度）	□□％				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	□□％
目安設定業種	-		-		
目安（2030年度）	-				
	-				
目標（2030年度）	-				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

電力使用量のモニタリング結果をもとに栽培用照明電力使用量の平準化を行った。  
また、栽培用LED照明の効率的な照射方法などの研究を行っている。  
今後も継続してエネルギー使用の合理化を進めていく。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

工場建屋に太陽光パネルを設置しており、将来的に工場の使用電力とすることで非化石エネルギーへの転換を進めていく。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

●●●...

2. 関連リンク

(タイトル)	:	●●●●●(URL)
(タイトル)	:	●●●●●(URL)
(タイトル)	:	●●●●●(URL)

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。

有限会社新日邦 808FACTORY  
(shinnippou Ltd. 808FACTORY)

銘柄コード	1111
法人番号	9080002018306

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	01	農業
細分類 (申請事業)	0113	野菜作農業(きのこ類の栽培を含む)
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)	主たる事業 の構成割合		原単位分母		
			%		
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)	原単位分母				
DR実施日数					
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準	k $\ell$ /t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準	k $\ell$ /t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

エネルギー総使用量	56,376	GJ	1,455.00	k $\ell$
前年度エネルギー 総使用量				k $\ell$
非化石エネルギー 総使用量		GJ		k $\ell$
調整後温室効果ガス 排出量			t-CO $_2$	

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量の量】

種別	合計量	
Jクレジット	t-CO $_2$	
-	-	t-CO $_2$
-	-	t-CO $_2$
-	-	t-CO $_2$

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	20.0%				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
					17.4

目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目安設定業種	-	-	-	-	-
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
					-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

電力使用量のモニタリング結果をもとに栽培用照明電力使用量の平準化を行った。  
また、栽培用LED照明の効率的な照射方法などの研究を行っている。  
7年9月以降の電気使用量は4%ほど減少しており効果が現出化している。  
今後も継続してエネルギー使用の合理化を進めていく。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

工場建屋に太陽光パネルを設置しており、将来的に工場の使用電力とすることで非化石エネルギーへの転換を進めていく。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

	:
	:
	:

(注意事項)

- 赤枠囲み欄は必須記載です。
- 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。